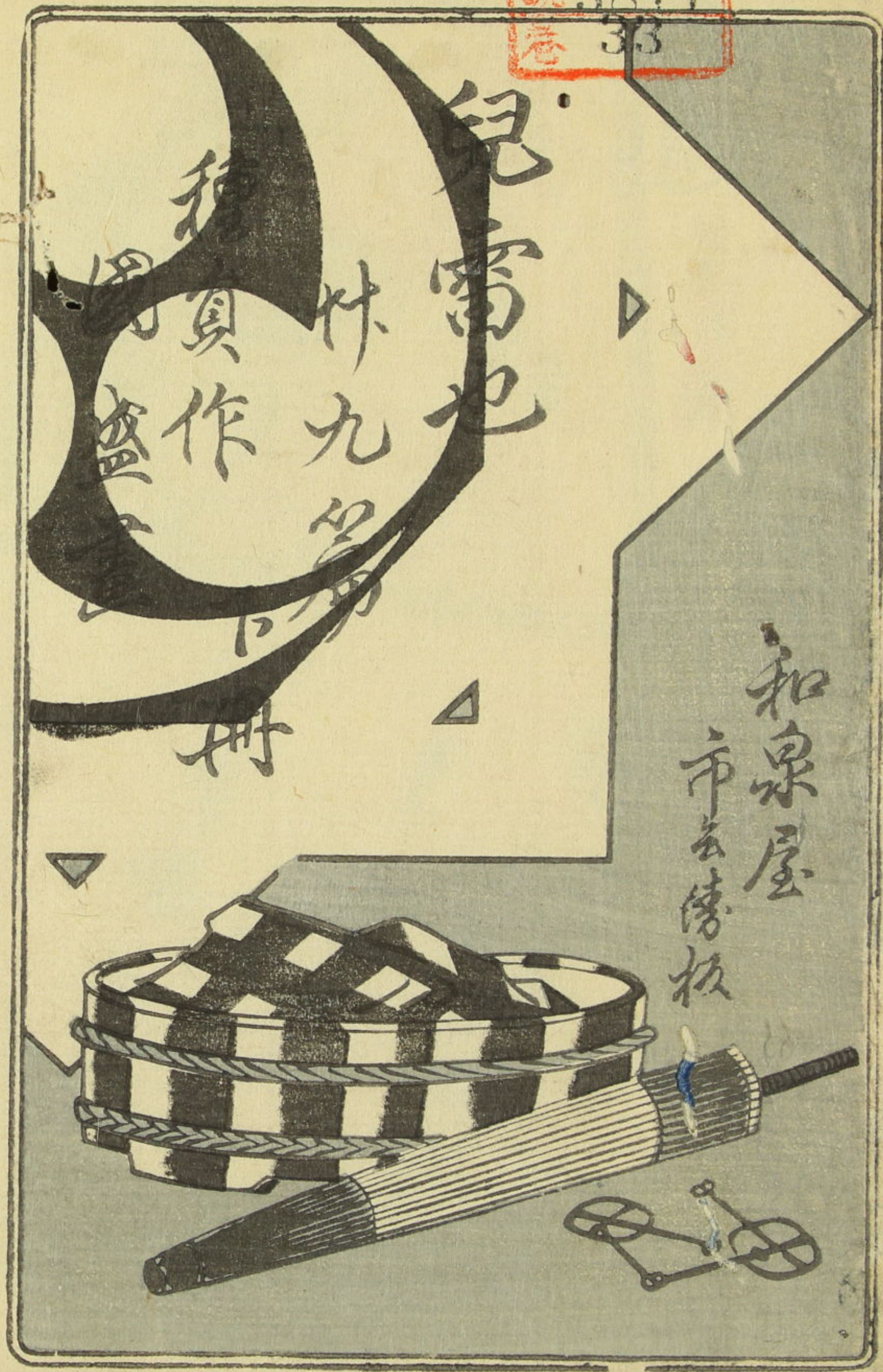


13
3811
33



和泉屋
市云傍板

兒雷也
和泉作
冊

一

井中の蛙大海を知らず無考ふ後編を作繼し大著述的の兒雷
 也物語赤龜の白地恥てさしはし俳才の眼鼻も不分明
 孟浪編むる七余集蝶廻のらまう長譚過るゝ無汰寸行止り
 小坐魚のけふあふ筆も走らむとさればとて又今更ふ免も角もなり
 善人ふ轉龍も用尽し詮方々のこの禪秀乱犬懸退治の謀略
 賤機山の閑談終趣向も至極扱煩望月が處女の替婿
 場迫ふ此巻を漸綴果やレ悦喜やと蒼息溜息五色の息をホト
 つくさく蟾蜍が吐ある虹霓ふ能似しらんうも

安政丙辰端月
 五
 柳下亭種員記



越後國領主
 月影深雪之助



月詣集 頭録

それきききき
 われてきき
 ひろ
 小松系
 いはれ
 子代
 多光
 なら
 手
 同家の侍

月詣集



高砂勇見之助の

照田

万葉集 大伴家持

初喜の

たの喜の

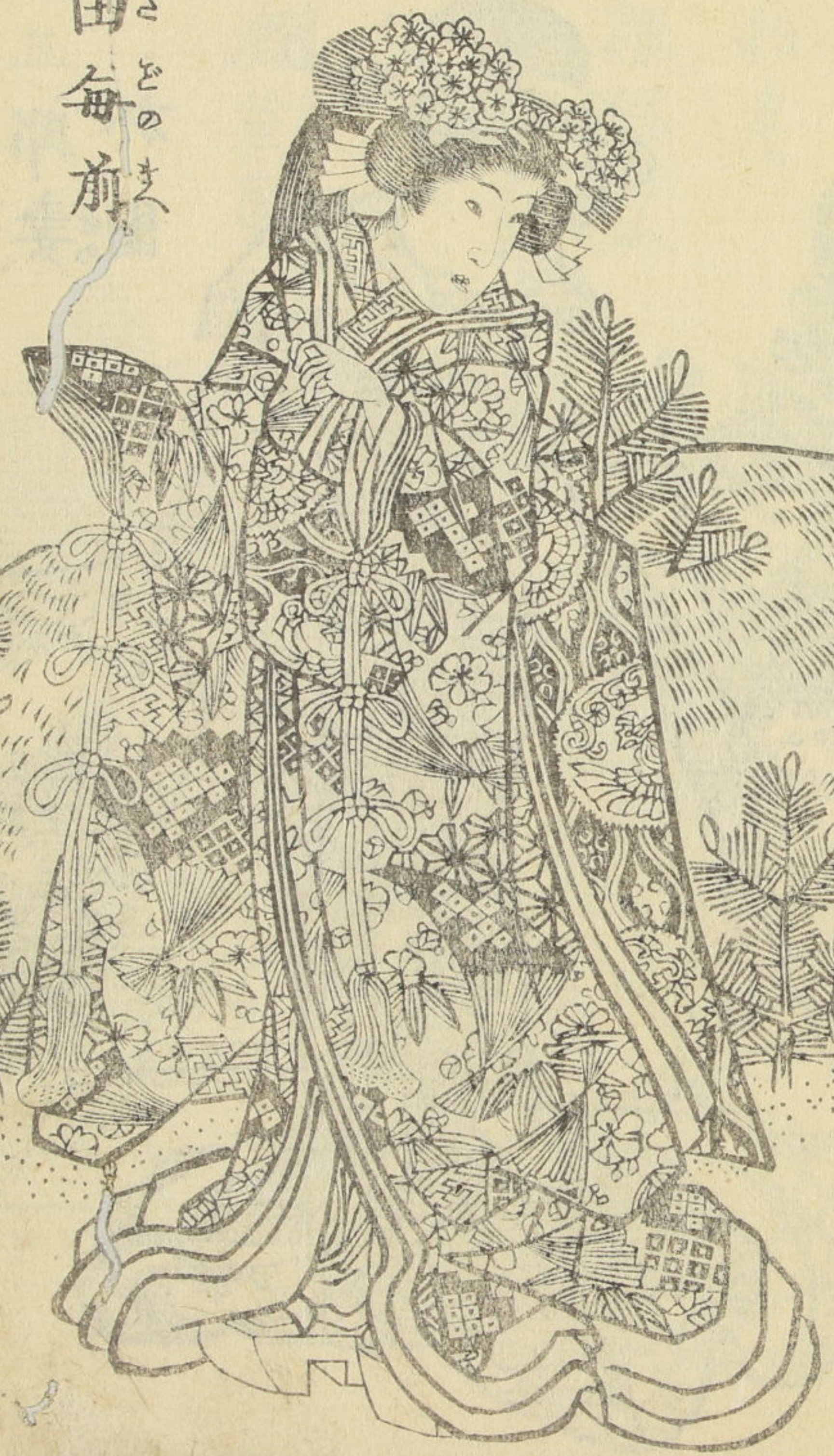
くしの西まき

てめと家

うら

ゆら

あみ



田毎前

兒雷也九九編

陸三郎妻
於園



柴平

傘持

大根経

子の目

濱菰陸三郎



白鳥也九九編



尻雷也州九第

五



又存
 此の
 又存
 此の
 又存
 此の
 又存
 此の
 又存
 此の

昌
 現
 昌
 現

昌
 現
 昌
 現
 昌
 現
 昌
 現

昌
 現
 昌
 現
 昌
 現
 昌
 現

昌
 現
 昌
 現
 昌
 現
 昌
 現

昌
 現
 昌
 現
 昌
 現
 昌
 現

あつとらんとく
あつとらんとく
あつとらんとく



あつとらんとく

あつとらんとく
あつとらんとく
あつとらんとく

あつとらんとく
あつとらんとく
あつとらんとく



あつとらんとく
あつとらんとく
あつとらんとく

あつとらんとく
あつとらんとく
あつとらんとく

福の神と云ふは
福の神と云ふは
福の神と云ふは
福の神と云ふは
福の神と云ふは
福の神と云ふは
福の神と云ふは
福の神と云ふは
福の神と云ふは
福の神と云ふは



現
現
現
現
現
現
現
現
現
現

夜は静か
静か
静か
静か
静か
静か
静か
静か
静か
静か

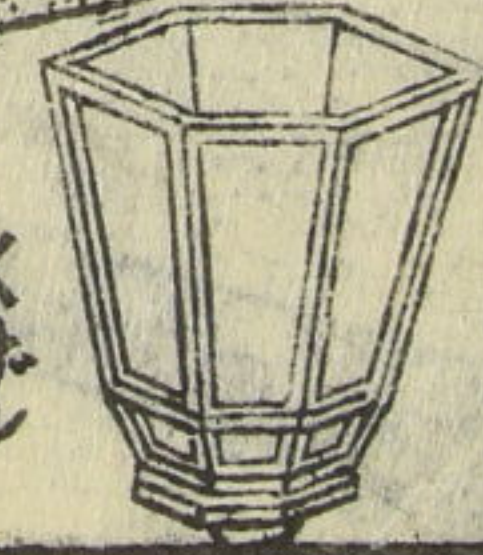
禁王壺生肌膏 一具 三十六孔
奇功紙 一枚 二十四孔

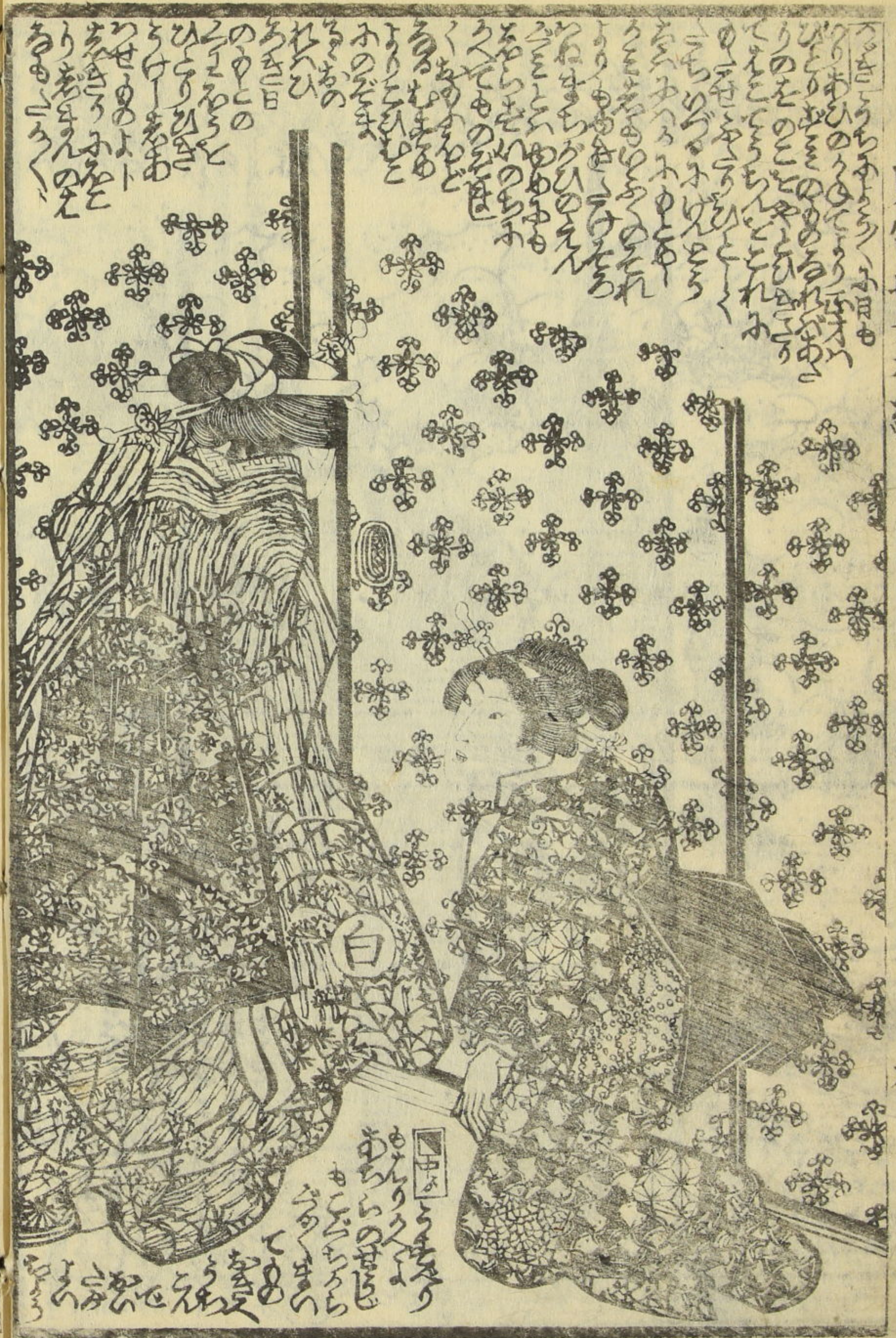


現
現
現
現
現
現
現
現
現
現

福の神と云ふは

禁王壺生肌膏 一具 三十六孔
奇功紙 一枚 二十四孔
調合所 新橋 下町





種員作國盛画

美田 青洲 洋書



兒雷也豪傑譚

二十編 柳下亭種員作
二十一編
二十二編 一龍齋國盛畫

風俗淺間嶽

柳煙亭種久作
一壽齋國貞画
五編六編出版

小女郎蜘蛛怨麻環
三編 馬琴作
大尾 國芳画

黃山水大盡盃

永春水作
一雄齋國輝画
五編出版

小栗十騎 昭天松標月鹿毛
四編 春風亭 柳枝作
五編 一雄齋 國輝画
金沢八景

新編金瓶梅
十編 馬琴作
大尾 豐國画

地本錦繪問屋 芝神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛板

龍齋國盛画
柳下亭種員作

外題曲多國盛

下

泉希

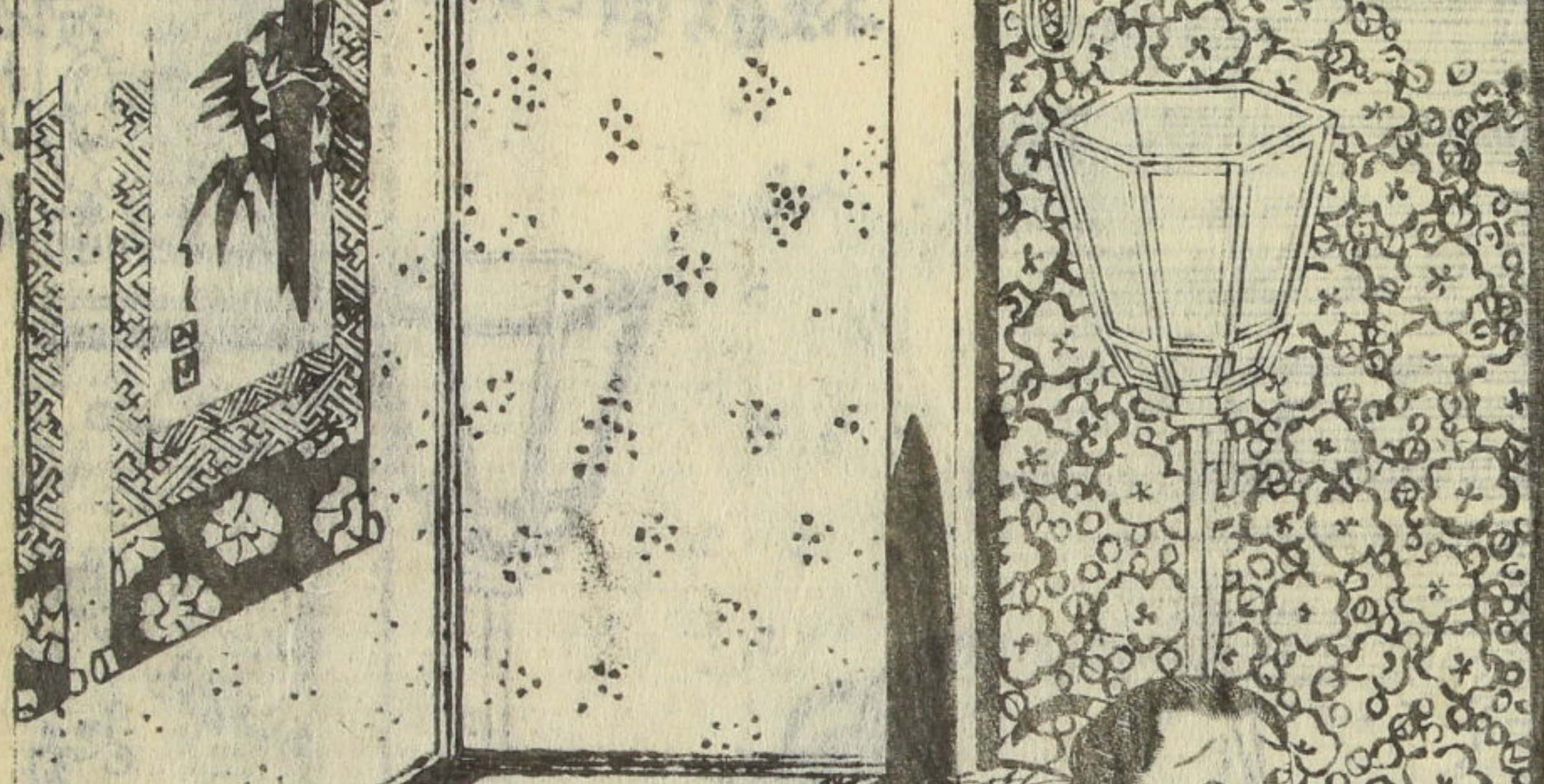


平才の... 兵衛世九郎の... 此の... 世に...



あつた... 兵衛世九郎... 此の... 世に...

あつた... 兵衛世九郎の... 此の... 世に...



あつた... 兵衛世九郎... 此の... 世に...



〔右〕
おれは下町の
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで

樂



〔左〕
おれは下町の
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで



〔右〕
おれは下町の
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで



〔左〕
おれは下町の
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで
さかひのついで

〇ありては
 うらやまの
 いひさし
 甘んじて
 〇ありては
 うらやまの
 いひさし
 甘んじて

げんご
 げんご
 げんご
 げんご
 げんご



〇ありては
 うらやまの
 いひさし
 甘んじて
 〇ありては
 うらやまの
 いひさし
 甘んじて

〇ありては
 うらやまの
 いひさし
 甘んじて
 〇ありては
 うらやまの
 いひさし
 甘んじて



〇ありては
 うらやまの
 いひさし
 甘んじて
 〇ありては
 うらやまの
 いひさし
 甘んじて

〇ありては
 うらやまの
 いひさし
 甘んじて

〇ありては
 うらやまの
 いひさし
 甘んじて



うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて

あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて

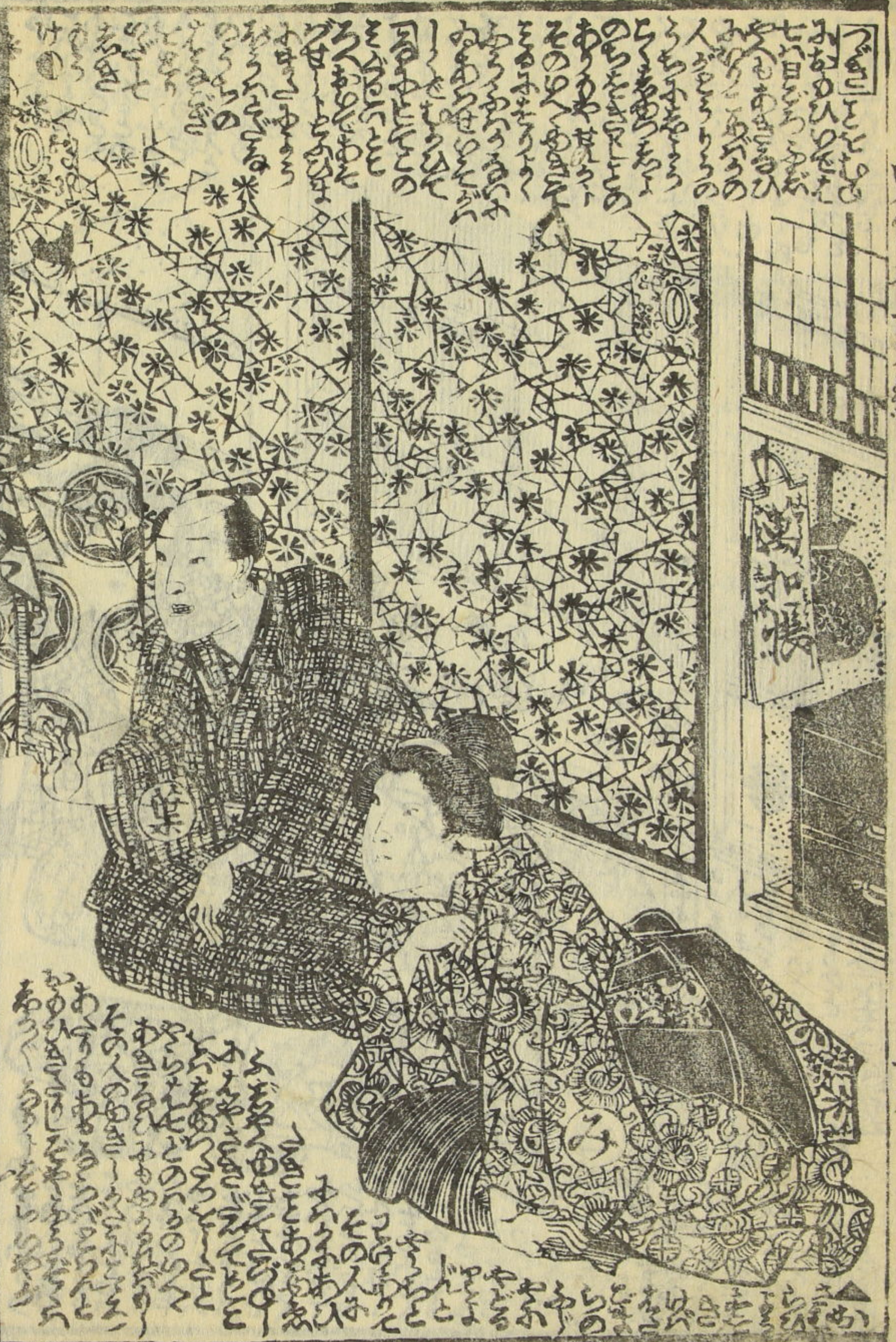
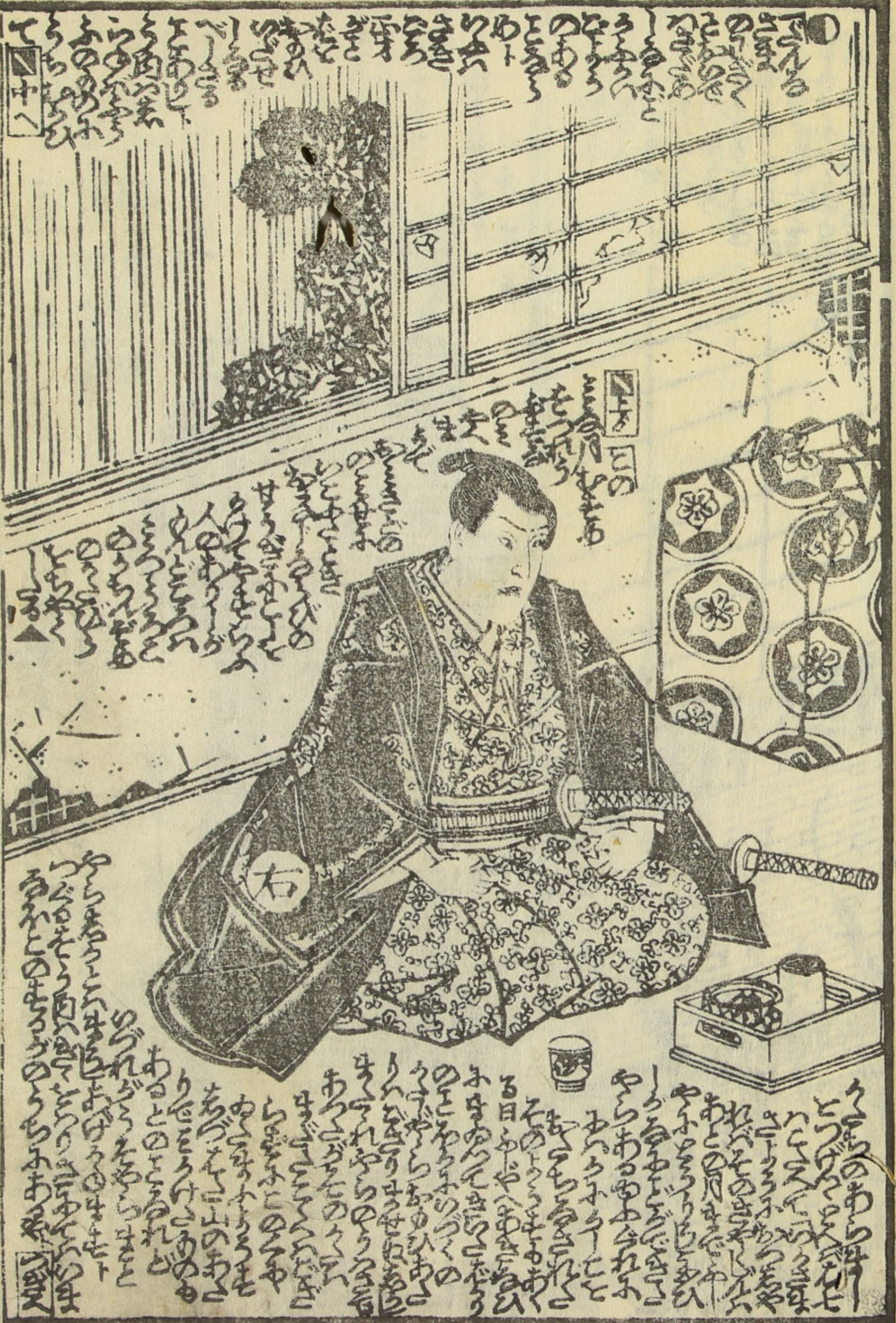


うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて

あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて
 あつちのうしろをきいて
 うしろのあつちをきいて

尾雷七十九





片... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百...

青樓十二月扇面
一書六對八價金百匹
同 一對八價三女

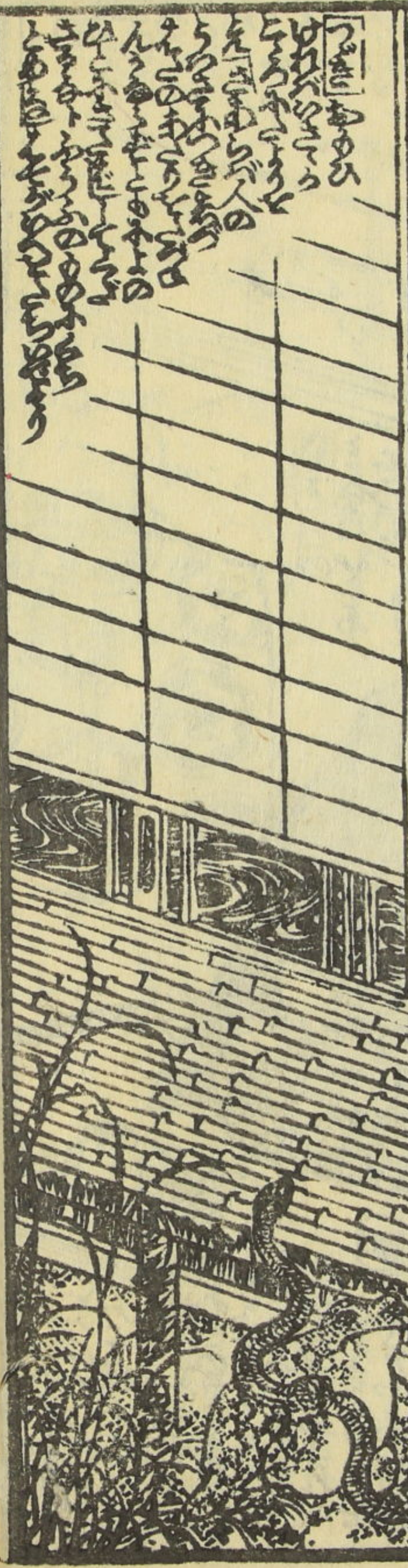
風
流
作
右
奉



永安堂

種員作國盛画

淨書青洲



柳煙亭種久作
一壽齋國貞畫

忠臣貞婦

いんは

文庫

初編
二編
三編

柳下亭種員校合
一場齋豐國助筆
梅素亭玄魚補

仮名一休草紙
反古

九編
十編
十一編

柳下亭
種員作
一壽齋
國貞画

小女郎如心学環

三編
大尾

曲亭
馬琴作
一勇齋
國芳画

照天松操月鹿毛

五編
六編

春風亭
柳枝作
一雄齋
國輝画

風俗淺間嶽

五編
六編

種員校合
種久抄録
國貞畫

